

1 アンケート調査票及び集計表

調査票

ご記入にあたって、以下のことにご注意下さい。

- 1 この調査票は、「学術研究の組織・体制」、「研究者の養成・確保と国際化」、「研究費の調達・運用と研究設備」、「情報の収集・保存」の4項目について、ご回答をお願いするものです。
- 2 回答欄はすべて1から5までの数字を○で囲むようになっています。ただし、問いによって、○を一つだけ囲む場合、二つ囲む場合、いくつ囲んでもよい場合があります。
- 3 各回答欄の右側の枠□¹³⁹は、事務用ですから記入しないで下さい。
- 4 それぞれの問い相互間の関係にこだわらず御自由にお答え下さい。
- 5 フェイス・シート（基本的属性調査票）は、最後に添付されていますので、必ずご記入下さい。

締切日 平成2年3月31日(土)必着

※枠内の数値の単位は、すべて%である。

I 学術研究の組織・体制

〔大学の制度〕

わが国の学術研究を発展させるという見地に立って考えた場合、大学のカリキュラムおよび組織自体がどのように編成されているのがよいとお考えでしょうか。1から6までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

- 1 学術研究を発展させるためには、①一般教育・専門教育・大学院が一貫したカリキュラムのもとに編成されている方がよい、②学部教育（一般教育プラス専門教育）と大学院とが、カリキュラムの上で分離されている方がよい、③一般教育と、専門教育プラス大学院とが、カリキュラムの上で分離されている方がよい、④一般教育・専門教育・大学院それぞれが、カリキュラムの上で分離されている方がよい、⑤どのようなカリキュラム編成がよいかは、一概に言えない。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
25.3	22.6	19.6	9.4	22.6	0.4

- 2 カリキュラムの編成は、画一である必要はなく、むしろ大学によって多様化されている方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
68.8	26.0	2.2	2.4	0.6	0.1

- 3 教育を目的とする大学と、研究および研究者養成を目的とする大学とに分けた方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
14.6	19.3	8.9	27.6	29.5	0.2

- 4 学部重点大学と大学院重点大学とに分けた方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
17.0	25.4	11.1	23.8	22.3	0.5

- 5 大学は教育に専念し、大学とは別に、アカデミー（仮称）のような研究専門の組織を作る方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
6.5	11.1	10.0	30.0	42.3	0.2

- 6 大学の組織は、画一である必要はなく、むしろ大学によって多様化されている方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
59.1	30.7	4.6	4.4	1.1	0.1

〔学部の区分の仕方〕

わが国の学術研究を発展させるという見地に立って考えた場合、学部の区分の仕方をどのようにしたらよいとお考えでしょうか。7から10までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

- 7 現状を維持しながら、学問の発展に合わせて小規模な手直しを加えるにとどめる方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
11.8	26.3	15.0	30.5	15.9	0.5

- 8 学問の方法論別に、たとえば、人文系・社会系・物理系・化学系・生物系などに再編成する方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
12.3	26.6	20.6	27.5	12.4	0.5

- 9 従来より大まかな区分、たとえば、文と理のみでよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
4.3	14.3	14.0	36.4	30.4	0.6

10 既存の学部の枠を超えて、学術研究の学際化に対応できる学部編成が望ましい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
41.5	34.9	12.5	7.4	3.3	0.4

〔研究組織の単位〕

わが国の学術研究を発展させるという見地に立った場合、大学における研究組織の単位のあり方は、どのようであるのがよいとお考えでしょうか。11および12の記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

11 大学における研究組織の単位のあり方としては、①大講座制がよい、②講座制がよい、③学科目制がよい、④アメリカ型の1教授（1助教授）1研究室制がよい、⑤どのような研究単位制がよいか、一概に言えない。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
13.2	8.7	5.7	32.2	40.0	0.3

12 大学における研究組織の単位のあり方は、画一である必要はなく、むしろ大学・学部によって多様化されている方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
48.0	40.5	4.6	4.9	1.8	0.2

〔職階制〕

わが国の学術研究を発展させるという見地に立って考えた場合、大学教員の職階制はどのようであるのがよいとお考えでしょうか。13から16までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

13 教授・助教授・専任講師・助手という現在の職階制は、そのまま維持した方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
8.5	18.0	18.5	31.4	22.9	0.7

- 14 現在の職階制は、教授・準教授(associate professor)・助教授(assistant professor)に改めた方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
14.5	26.5	29.7	19.0	9.5	0.7

- 15 現在の職階制は、教授・助教授はそれぞれ独立とし、助手を博士研究員(postdoctoral fellow)で置き換える制度に改めた方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
18.8	31.8	20.9	19.4	8.7	0.4

- 16 大学により、職階制が異なっても構わない。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
18.3	23.7	12.6	28.0	17.1	0.2

〔任 用〕

- 大学教員および研究所研究員の任用方法について、どのようにお考えでしょうか。17から20までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

- 17 任用に際しては、他機関との人事交流を図るのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
58.4	32.6	6.5	1.7	0.7	0.1

- 18 任用は、公募によることを原則とするのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
49.9	31.6	13.1	4.5	0.9	0.1

- 19 任用に際しては、他の機関に所属する者を審査員に加えるのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
23.8	25.9	19.4	21.3	9.5	0.1

- 20 教員・研究員は、独仏にみられるように、教授職任用資格論文審査（または試験）にパスした者から任用するのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
12.8	21.7	26.2	23.2	15.9	0.3

- 21 教員の任期については、①全員につき終身雇用制がよい、②教授・助教授・専任講師は終身雇用制とし、助手は任期制とするのがよい、③教授・助教授は終身雇用制とし、専任講師・助手は任期制とするのがよい、④教授は終身雇用制とし、助教授・専任講師・助手は任期制とするのがよい、⑤全員任期制とし、再任には、審査通過を義務付けるのがよい。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
14.2	12.7	18.1	13.9	40.1	1.1

〔研究の活性化〕

研究を活性化させる諸要因について、現状がどうであるかお知らせ下さい。22から28までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

- 22 私の専門領域では、研究分野の再編成が積極的に行われている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
3.5	25.9	32.5	30.8	6.9	0.4

- 23 私の専門領域では、研究の学際化が活発化している。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
12.3	47.2	23.9	14.6	1.6	0.3

- 24 私が所属する研究機関（教室・学科に相当する研究組織）メンバーは、多様な専門領域の研究者から構成されている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
18.7	38.2	16.3	20.4	6.2	0.1

25 私が所属する研究機関（教室・学科に相当する研究組織）は、学術の国際交流に支障なく対応できる力を持っている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
15.8	40.6	21.3	16.7	5.4	0.1

26 私が所属する研究機関（教室・学科に相当する研究組織）では、研究者の老齢化が進んでいる。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
11.6	24.5	28.4	26.8	8.6	0.1

27 私が所属する研究機関（教室・学科に相当する研究組織）の研究者の数は、現在の研究を進める上で支障がない。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.5	14.6	18.6	36.4	28.7	0.2

28 私が所属する研究機関（教室・学科に相当する研究組織）の若手研究者の数は、現在の研究を進める上で支障がない。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
0.7	9.7	16.1	39.5	33.9	0.2

〔官・学・民間の交流〕

官・学・民間の交流について、どうあるべきだとお考えでしょうか。29から32までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

29 大学は、民間からの寄付講座を積極的に受け入れる方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
28.4	33.1	15.2	15.9	7.1	0.3

30 大学は、民間からの奨学寄付金または寄付物件を積極的に受け入れる方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
37.9	37.0	11.9	9.7	3.3	0.2

31 官・学・民間の共同研究組織の拡充を図る方がよい。

賛成	どちらかとい えば賛成	どちらでもな い	どちらかとい えば反対	反対	無効回答
34.3	38.9	14.7	9.1	2.7	0.2

32 官・学は、民間企業からの委託研究の受け入れをもっと推進する方がよい。

賛成	どちらかとい えば賛成	どちらでもな い	どちらかとい えば反対	反対	無効回答
22.1	28.0	22.8	19.4	7.4	0.3

以上の記述に関連して特にご意見がありましたら、以下の空欄にご記入下さい。

Ⅱ 研究者の養成・確保と国際化

〔若手研究者の養成〕

わが国の若手研究者の養成について、あなたの専門領域についてはどうであるか、お考えをお聞かせ下さい。33の記述については、回答欄の該当する番号一つを、34の記述については、回答欄の該当する番号二つを選んで、○で囲んで下さい。

33 私の専門領域については、①大学の学部が、研究者養成の主たる担い手となるのがよい、②大学院が、研究者養成の主たる担い手となるのがよい、③国立・公立・私立の研究機関が、研究者養成の主たる担い手となるのがよい、④民間企業の研究所が、研究者養成の主たる担い手となるのがよい、⑤上記の研究機関以外の機関が、研究者養成の主たる担い手となるのがよい。(一つだけ○で囲んで下さい)

①	②	③	④	⑤	無効回答
4.9	86.0	7.3	0.5	0.2	1.2

- 34 若手研究者の養成・確保にとって最も重要な課題は、①生活できるだけの待遇を与えること、②将来のポストを確保すること、③よい研究環境を確保すること、④よい指導者を確保すること、⑤研究の自由を保障すること。(重要と思われるもの二つを選んで下さい)

①	②	③	④	⑤	無効回答
23.1	16.1	31.3	15.7	10.3	3.5

〔若手研究者の処遇〕

若手研究者の処遇はどうあるべきかについて、お考えをお聞かせ下さい。35から38までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

- 35 現行の助手制度は存置した上で、博士研究員制度 (postdoctoral fellow) を導入するのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
21.3	30.0	16.6	19.8	11.8	0.5

- 36 博士研究員制度 (postdoctoral fellow) は、現行の助手制度に替えて、導入する方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
16.6	20.3	19.8	29.1	13.5	0.7

- 37 若手研究者は任期制として、新規採用を活発化する方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
25.5	39.7	15.4	13.7	5.5	0.3

- 38 有能な若手研究者を採用するため、任用試験制度あるいは任用論文制度を導入する方がよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
14.3	28.7	24.2	22.3	10.2	0.3

〔後継研究者の養成〕

後継研究者の養成や採用について、現状がどうであるかお聞かせ下さい。39から42までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

- 39 私が所属する又は所属した大学学部基礎を置く大学院では、大学院博士前期（修士）課程の学生に対する教育方針は、後期課程への準備に置かれている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
7.2	24.3	29.3	25.6	11.3	2.1

- 40 私が所属する又は所属した大学学部基礎を置く大学院では、大学院博士後期（博士）課程の学生に対する教育方針は、専任研究者の養成に置かれている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
18.9	47.1	20.9	7.5	3.4	2.1

- 41 私が所属する又は所属した大学学部の教授・助教授・専任講師は、主として自分の大学の助手または大学院修了者から採用している。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
9.7	38.3	28.4	16.6	6.5	0.6

- 42 私が所属する又は所属した大学学部の教授・助教授・専任講師は、主として公募によって採用している。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
8.5	13.6	17.8	33.1	26.2	0.7

〔研究成果の発表〕

研究成果の発表の仕方についてお聞かせ下さい。43から46までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

43 私の研究論文は、主として、日本語で発表する。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
12.0	25.7	22.0	21.5	18.6	0.2

44 私の研究論文は、主として、外国語で発表する。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
22.2	20.1	22.8	24.7	10.0	0.2

45 私の研究成果は、主として、著書として発表する。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
7.6	10.4	14.9	39.2	27.4	0.5

46 私の研究成果は、公表しないで、部外秘や特許となることが多い。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
0.1	0.3	2.2	12.4	84.7	0.4

[外国人研究者・留学生]

外国人研究者や留学生の受け入れについて、どのような姿勢で臨むべきだとお考えでしょうか。47から50までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

47 外国人研究者（わが国の大学院修了者を含む）も、教員として採用するのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
44.1	36.8	13.2	4.8	1.0	0.1

48 外国人研究者（わが国の大学院修了者を含む）も、研究員として採用するのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
50.7	38.7	8.2	1.8	0.5	0.1

49 外国人留学生を、わが国の大学院に積極的に受け入れるのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
39.5	39.4	16.8	3.8	0.4	0.1

50 文部省国費留学生の数をもっと増やすのがよい。

賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無効回答
47.3	32.0	16.1	3.3	1.1	0.2

〔国際交流〕

国際交流の実情についてお聞かせ下さい。51および52の記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

51 私の海外での研究期間（研究発表のためや、交換教授としての渡航も含め）は、合計して、①0である、②1年未満である、③1年以上2年未満である、④2年以上5年未満である、⑤5年以上である。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
13.2	30.0	27.4	23.8	5.4	0.3

52 私がこれまでに参加した国際共同研究プロジェクトの数は、①0である、②1である、③2である、④3である、⑤4以上である。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
46.0	27.0	15.0	4.9	6.8	0.3

53および54については、複数ご回答下さっても結構です。回答欄の該当する番号を○で囲んで下さい。

- 53 国外の国際研究集会において、私は、①招待講演をしたことがある、②一般講演をしたことがある、③ポスター発表をしたことがある、④論文を提出したことがある、⑤国外の研究集会に参加したことがない。(いくつでもご回答下さい)

①	②	③	④	⑤	無効回答
30.0	61.2	39.3	52.2	20.5	2.9

- 54 外国人研究者・留学生を受け入れる際、障害になると思われる点は、①言語が相違することである、②宿舍の確保が困難なことである、③生活費の保証が困難なことである、④身分保障を得ることが困難なことである、⑤研究についての考え方も含め、ものの見方や習慣が相違することである。(いくつでもご回答下さい)

①	②	③	④	⑤	無効回答
39.9	56.0	72.0	31.2	17.8	1.3

以上の記述に関連して特にご意見がありましたら、以下の空欄にご記入下さい。

Ⅲ 研究費の調達・運用と研究設備

〔研究費の供給源および用途〕

あなたが所属する研究グループ（研究組織の最小単位）の研究費の主たる供給源および用途についてお聞かせ下さい。55から58までの記述それぞれにつき、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

- 55 私が所属する研究グループの研究費は、主として、①所属機関から供給されている、②文部省の科学研究費から供給されている、③文部省以外の省庁の研究費から供給さ

れている，④私が所属する機関以外の民間企業・研究助成財団などから供給されている，⑤外国の政府機関・財団・民間企業などから供給されている。(一つだけ○で囲んで下さい)

①	②	③	④	⑤	無効回答
59.4	26.7	4.2	7.8	0.3	1.7

56 私が所属する研究グループの研究費は，受託研究などの特定目的の研究に対して与えられることが多い。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
2.1	9.4	14.6	33.1	40.3	0.6

57 私が所属する研究グループの研究費は，重点領域研究などのグループの研究の分担者として与えられることが多い。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.8	14.7	22.5	30.6	29.9	0.6

58 私が所属する研究グループの研究費は，自由に選んだ個人的・萌芽的テーマの研究にも使用することができる。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
29.4	42.7	13.5	9.8	3.8	0.7

〔研究環境〕

あなたが所属する研究グループ（研究組織の最小単位）や研究機関（研究グループより大きな単位）の研究環境についてお聞かせ下さい。59から69までの記述それぞれについて，回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

59 研究グループの研究室の面積は，現在の研究を進める上で支障がない。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
4.0	17.7	11.6	32.8	33.4	0.5

60 研究グループの研究室の通風（ドラフト室等）・採光および防災設備は、整っている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
7.7	37.3	20.8	22.7	10.6	0.9

61 研究機関への電力供給は、支障なく行われている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
26.1	46.3	12.5	10.0	4.5	0.7

62 研究グループには、1台3,000万円以上の分析・測定・計算設備が整っている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
4.1	9.3	10.2	19.6	55.2	1.6

63 研究グループには、1台3,000万円未満の分析・測定・計算設備が整っている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
7.7	34.3	21.5	18.4	16.4	1.7

64 研究グループの研究設備については、旧型機の更新は適切に行われている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.3	18.2	29.6	31.4	17.6	1.9

65 研究機関には、工作室、アイソトープ実験室、計算センター、分析センター、実験生物施設などの研究支援施設が整っている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
6.6	33.8	23.6	18.9	14.9	2.2

66 研究グループの研究費のうち、設備費は支障なく供給されている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
0.8	13.8	27.6	38.2	18.1	1.6

67 研究グループの研究費のうち、消耗品費は支障なく供給されている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
7.6	43.0	23.6	17.8	7.2	0.9

68 研究機関の研究補助者の数は、現在の研究を進める上で支障がない。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
0.5	6.9	15.6	40.3	35.6	1.0

69 研究機関の秘書の数は、現在の研究を進める上で適切である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.1	6.3	12.3	25.8	53.6	1.0

〔共同利用研究所・図書館〕

研究所や図書館の共同利用について、現状とご意見をお聞かせ下さい。70から75までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

70 私の専門領域では、共同利用研究所の大型研究装置が有効に利用されている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
2.7	16.7	29.5	27.2	21.5	2.4

71 私の専門領域では、共同利用研究所が、研究交流に有効に利用されている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
3.3	16.4	30.5	28.4	19.3	2.1

72 私が所属する研究グループの共同研究は、主として、共同利用研究所で行われている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
2.6	6.3	18.1	32.6	38.6	1.8

73 私の専門領域には、使用する共同利用研究所がないので、その早急な設置が望まれる。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
18.7	19.8	31.9	16.0	12.0	1.6

74 私の専門領域では、図書館の共同利用が進んでいる。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
5.4	28.4	29.4	26.2	10.3	0.4

75 私は、学術研究のため、他機関の図書館を積極的に利用している。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
12.0	35.2	19.0	26.9	6.6	0.3

【研究費の調達】

研究費の調達状況についてお聞かせ下さい。76から82までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

76 私が所属する学部または研究所の図書予算で、研究に必要な図書・雑誌類を購入することができる。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
7.6	33.3	18.1	30.0	10.6	0.4

77 私が所属する学部または研究所の図書予算で、研究に必要な高額のパックナンバー類を購入することができる。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.8	12.3	21.9	38.7	24.7	0.5

78 私が個人研究のために年間使用する研究費のほとんどが、私費である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
3.2	11.3	20.4	40.6	24.0	0.6

79 私が共同研究のために年間使用する研究費のほとんどが、私費である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.2	5.7	18.2	41.1	32.9	0.9

80 私が研究のために購入する年間図書費のほとんどが、私費である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
11.0	23.8	31.3	26.1	7.4	0.4

81 国内の学会への出張旅費は、適切に支給されている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
6.7	28.7	14.8	27.7	21.6	0.5

82 国外の学会への出張旅費は、適切に支給されている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.9	9.4	14.9	26.6	46.6	0.5

〔研究費の額〕

年間使用する研究費の額についてお聞かせ下さい。83から86までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

83 私が所属する研究グループ（研究組織の最小単位）が年間使用する研究費の総額は、ここ数年間平均して、およそ①200万円未満である、②200万円以上500万円未満である、③500万円以上1,000万円未満である、④1,000万円以上5,000万円未満である、⑤5,000万円以上である。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
26.8	28.5	24.4	16.2	2.5	1.7

- 84 私が所属する研究グループ（研究組織の最小単位）が所属機関から配分を受ける年間研究費は、ここ数年間平均して、およそ①50万円未満である、②50万円以上200万円未満である、③200万円以上300万円未満である、④300万円以上500万円未満である、⑤500万円以上である。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
16.2	32.3	20.9	17.4	11.3	1.9

- 85 私が研究のために年間使用する図書費の総額は、公費・私費を合わせ、ここ数年間平均して、およそ①20万円未満である、②20万円以上50万円未満である、③50万円以上200万円未満である、④200万円以上500万円未満である、⑤500万円以上である。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
26.2	44.2	26.3	2.1	0.4	0.7

- 86 私が研究のために年間使用する図書費のうち、私費は、ここ数年間平均して、およそ①10万円未満である、②10万円以上20万円未満である、③20万円以上50万円未満である、④50万円以上100万円未満である、⑤100万円以上である。（一つだけ○で囲んで下さい）

①	②	③	④	⑤	無効回答
38.6	32.4	21.2	5.8	1.4	0.6

以上の記述に関連して特にご意見がありましたら、以下の空欄にご記入下さい。

IV 情報の収集・保存

あなたが所属する研究機関（学部・研究所）では、図書やデータベースなどの利用状況がどうであるかお聞かせ下さい。87から94までの記述それぞれについて、回答欄の該当する番号一つを○で囲んで下さい。

87 図書館の書庫・閲覧室などの面積は適切である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
2.8	23.4	18.8	35.4	19.1	0.5

88 図書館が収集する単行本の数は、適切である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.4	16.5	23.9	39.7	18.0	0.5

89 図書館が収集する学術雑誌などの定期刊行物の数は、適切である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
2.5	32.3	20.1	31.4	13.3	0.5

90 私が所属する研究機関（学部・研究所）で利用できる抄録誌などの高額二次資料の数は、適切である。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
1.4	18.0	32.5	33.0	14.2	0.9

91 私が所属する研究機関（学部・研究所）において、データベースへのアクセスは、適切に行われている。

まったくそのとおり	ほぼそのとおり	どちらともいえない	ほとんどそうでない	まったくそうでない	無効回答
2.0	23.8	31.5	28.9	13.1	0.8